

▶ KASPERSKY SYSTEMS MANAGEMENT

(2014 年提供開始予定)

パッチ適用と構成の集中管理により、セキュリティの強化と管理効率の向上を実現します。

ユーザーデータの保護と組織の IT 利活用を促進するために、システム管理者は多くの困難な作業に直面しています。なぜなら、IT のシステム管理を実現する場合、異なるベンダーのアプリケーションやツールが必要になることがよくあります。そして、最も大きな課題の 1 つは、相互に連携するように設計されていない複数のツールで作業をしなければならないことです。

Kaspersky Systems Management の機能：

- オペレーティングシステムの配置
- リモートでのインストールとトラブルシューティング
- MICROSOFT WSUS と Wake On Lan のサポート
- ソフトウェアライセンスの配置と管理
- ハードウェアとソフトウェアの管理
- 高度な弱い弱性スキャンレポート機能
- パッチ管理
- ネットワークアクセスコントロール (NAC)

単一の直感的なコンソールで、すべてを集中管理

▶異なる複数の IT ツールがもたらす複雑さ — 複雑さはセキュリティの大敵

Kaspersky Systems Management は、IT の生産性向上を目的として、同じコードベースに基づいて記述され、1 つのコンソールから管理できる強力なツールを提供しています。このプラットフォームによって、管理の簡素化と自動化を実現することで、セキュリティ機能とシステム管理機能における複雑さという課題を解決します。

重複作業の排除

重複作業の排除は、新規および既存のユーザーに対して個別にシステムを設定する際に必要となります。Kaspersky Systems Management を使用すれば、ディスクイメージの作成、管理、配信を 1 つの場所から実行することができます。

セキュリティの強化

パッチが最新かどうかを確認するための作業でシステム管理者の 1 日が終わってしまうことがよくあります。悪用される可能性がある弱い弱性を特定すれば、どの修正作業を営業時間外まで延期するか、といったパッチ管理作業における優先順位を判断するのが容易になります。この優先順位付けは、管理者が 1 日の計画を立てるのに役立ち、セキュリティ体制の強化へとつながります。

作業効率の向上

管理者は、イメージ、アップデート、パッチ、アプリケーションのインストールをリモートで実行できます。ユーザーが問題を抱えている場合、IT 管理者は、マシンにリモートでログインしてシステムのトラブルシューティングを実施できます。これによって管理者は、社内を移動するためにかかる無駄な時間、または電話によるトラブルシューティングの試みに費やされる非生産的な時間から解放されます。

これらの機能は Kaspersky Systems Management の一部分であり、Kaspersky Security Center の管理コンソールからアクセスできます。各ツールは独自のコンソールを必要としないため、一貫性のある直感的なコマンドを使用することができ、追加のトレーニングを実施する必要はありません。

KASPERSKY SYSTEMS MANAGEMENT の機能:

オペレーティングシステムとアプリケーションの配置

Kaspersky Security Center から、システムイメージの作成、保存、クローンの作成、配信を簡単に実行できます。最適なセキュリティ設定が適用されたシステムが配布されます。このツールは、Microsoft Windows 8 への移行にも最適です。

ぜい弱性の完全な管理

ハードウェアとソフトウェアのスキャンをワンクリックで実行するだけで、スキャン結果が複数のぜい弱性データベースと比較されます。管理者は、どのぜい弱性に今すぐ対応する必要があるか、またどのぜい弱性であれば対応を営業時間外まで延期できるか、優先順位を決めることができます。

柔軟性の高いリモートでのソフトウェアインストール

手動またはスケジュールによる、ソフトウェアのリモートインストールの実行により、ネットワークへの負荷を最小限に抑えることができます。

リモートエージェント

リモートオフィス（支社や支店）にあるワークステーションを、その場所におけるローカルのアップデートエージェントに指定することができます。これにより、リモートオフィスに 1 つのアップデートを送信することにより、アップデートエージェントに指定されたローカルワークステーションがその場所でのアップデート配布を肩代わりするため、ネットワーク帯域幅が節約されます。

Wake On Lan テクノロジーのサポート

業務時間外の配置またはサポートのために、Kaspersky Systems Management では、リモートでワークステーションの電源を投入できるようになっています。

トラブルシューティングのツール

1 つの管理コンソールからクライアントシステムに安全にリモート接続して、問題を修正することができます。

ネットワークアクセスコントロール (NAC)

NACにより、ネットワークの [ゲスト] ポリシーを作成できます。ゲストデバイス（モバイルデバイスを含む）は自動的に認識され、正しい認証情報を企業ポータルに送信することで、許可されているリソースにアクセスできるようになります。

MICROSOFT WINDOWS SERVER UPDATE

SERVICES (WSUS) のサポート

Kaspersky Systems Management は、Microsoft Windows Update を含むサーバーとの間で、利用可能なアップデートとホットフィックスに関するデータの同期を定期的に行います。また Kaspersky System Management は、Windows Update Services 経由でそれらのアップデートやホットフィックスをダウンロードし、管理下の Windows PC に対して効率的に配布します。

ハードウェアとソフトウェアのインベントリ

PC、ハードドライブ、さらにリムーバブルデバイスも、自動的に検出してインベントリに追加します。新しいデバイスが導入された場合は、管理者に通知します。この機能により、管理者は、ネットワーク上にあるハードウェアの状態および使用状況を追跡することができます。

ライセンスの配信と管理

Kaspersky Systems Management は、環境内で使用中となっているソフトウェアが何であるかを、正確にレポートします。この機能によって、管理者は、ライセンスコストの調整、およびライセンス契約を順守していないユーザーの特定ができます。カスペルスキーのエンドポイント管理ツールを使用してアプリケーションを配信した場合は、許可したアプリケーションまたはその特定バージョンのみに使用を制限すること、および使用されるライセンスの数を制限することもできます。

製品についてのお問い合わせ

Kaspersky Systems Management は、2014 年に提供開始予定です。また、Kaspersky Endpoint Security for Business Advanced (2014 年提供開始予定) に含まれます。

詳細については、カスペルスキーまたは販売パートナーにお問い合わせください。